

平成十三年度 駒沢短期大学仏教科彙報

*今回は原則として平成十二年度を主とする

◇平成十二年度 短大仏教科開講科目

基礎仏教学

石井 公成

五蘊、無我、縁起など原始仏教の中心となる教理について考察し、中国や日本における仏教の変容について触れ、道元禪師・瑩山禪師の思想の特質を考察。

坐 禅

角田 泰隆

前半は只管打坐、後半は坐禅に関する両祖の撰述の提唱。今年度は、『坐禅用心記』。

宗学研究

角田 泰隆

前期は、曹洞宗の基本的事柄について概説、後期は、両祖(道元禪師・瑩山禪師)の伝記をたどりながら、その基本的な教義について講義。

禅学研究

奥野 光賢

禅学特有の用語の解説を中心としながら、慧能に至るまでの中国禅宗史を概説。その上で、『六祖壇経』を講読して、禅思想の思想的意味について考察した。

仏典研究II

石井 公成

初期仏教文献の漢訳をとりあげ、仏教漢文の語法に注意しつつ講読。

仏典研究III

袴谷 憲昭

日本における仏教思想の展開を検討していくための一環として良遍の『法相二巻抄』を講読した。十二年度は巻上で終了。仏教思想演習

法然以前の日本の浄土思想の理解に資すべく永観の『往生講式』を同じ永観の『往生拾因』や中国の曇鸞や善導の著述ほか日本の源信の『往生要集』などを参考にしながら講読した。

中国仏教演習

奥野 光賢

凝然『八宗綱要』『法相宗』の項をテキストとして、法相宗の歴史と教理を演習形式で概説。

仏教文学演習

石井 公成

『日本霊異記』を中心としつつ、印度・中国・新羅・日本の仏教説話や漢詩などを講読。

日用經典概説

奥野 光賢

前期は仏教教理史を概説しながら主要な大乘經典に対する解説。後期は曹洞宗において日頃誦読している經典(教典)・語録等を概説。主として『修証義』を中心的に扱った。

中国仏教史

奥野 光賢

中国仏教の形成過程を主として教理に力点をおいて概説。

日本仏教史

袴谷 憲昭

末木文美士『日本仏教史―思想史としてのアプローチ―』(新潮文庫)を教科書として、織豊期直前までの日本における仏教思想史上の問題点について講義した。

日本禅宗史

角田 泰隆

前期は、インド・中国・日本に及ぶ禅の流れ、および禅思想の特徴について概説。後期はこれを踏まえて日本の禅宗の歴史、

特に臨済宗史について講義。

仏教と文化

奥野 光賢

中国において偽経の作成に至った背景を考察しながら、仏教が民衆に浸透していく過程を、『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』等を講読しながら考察した。

外国語仏書演習

石井 公成

初期仏教文献の英訳を中心にしつつ、英語で書かれた様々な仏教文献を講読。

仏教伝道

角田 泰隆

前期は、釈尊の伝記を学びながら仏教伝道の基本的あり方について考え、後期は、宗門寺院における伝道の具体相、特に葬祭儀礼について、その意義を概説。

宗学演習

角田 泰隆

『正法眼蔵』『現成公案』巻と『摩訶般若波羅蜜』巻を研究した。テキストを分担し、毎回担当を決めて演習形式で読み進み、各自テキストの研究ノートを完成させた。

インド仏教史

池田 道浩

仏教語解説

池田 道浩

仏教と人間

大西 龍峯

仏典講読

大西 龍峯

禅籍講読

志部 憲一

中国禅宗史

須山 長治

中国古典語

須山 長治

仏教と現代

峰岸 孝哉

宗教哲学

紺野 馨

キリスト教概説

紺野 馨

書道

野村 宙弘

仏教特講 I

荒井 裕明

仏教特講 II

三橋 正

◇他学部他学科出講科目

〔大学院〕

修士課程・仏教学特講 II

石井 公成

敦煌出土の地論宗文献をとりあげ、慧遠

など従来知られていた地論宗の教学や、

天台宗・華嚴宗・禅宗などとの関係を明らかにし

つつ講読。

〔仏教学部〕

日本仏教文化史

袴谷 憲昭

日本における仏教文化を理解するための

一助として今年度は「浄土思想」を取り上

げ、以下のようなテーマで講義を行った。

「浄土思想と日本文化」「浄土思想の視座

について」「五濁悪世(kali-yugaを含む)

について」「インドにおける文献としての

Sukhavatīyūha の特徴およびその具体

例」「Sukhavatīyūha とアヴァターナ文

献の類似性について」「Sukhavatīyūha

における菩薩成仏論」「我が国の凝然のみ

た浄土思想の流伝」「内在主義と外在主義」

「良忠と良遍」「浄土思想のインドにおけ

る展開とそのまとめ」「善導以前における

中国の浄土思想」「善導の浄土思想」「法然

以前の我が国の浄土思想」「法然親鸞の浄

土思想」「法然以後の我が国の浄土思想」

中国古典語初級

石井 公成

文法の基礎を押えつつ、『老子』『荘子』『易』

の要文と注釈を講読。

仏教特講 IV

奥野 光賢

前期は如来蔵・仏性思想に対する研究史

を概説。後期は中国における『法華経』受

容史を仏性思想史の観点から考察した。

〔短期大学〕

仏教と人間 (国文科前半)

石井 公成

古代の呪術的信仰が現代人のうちにも生

きていることに注意しつつ、世界の宗教

と仏教について概説。

仏教と人間 (国文科後半英文科後半)

袴谷 憲昭

芥川龍之介の『西方の人』の講読を中心

に、単なる地理的や人種的な違いにとどまらない、西と東、天上と地上、文化と野蛮、若と老、有名と無名などの対立を考えながら、その中で、仏教の特徴とはなんであるかを追求してみた。

仏教と人間 (英文科前半) 奥野 光賢
松本史朗著『仏教への道』を教科書として、仏教の基本的教義の概説を概説しながら、仏教の人間観を考察した。

仏教と人間 (放射線科) 角田 泰隆
前期は、宗教の概念および世界の宗教について概説し、次に仏教の基本的な教義について解説。後期は、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと仏教を関係させながら講義。

◇教員研究活動

石井 公成

〔論文〕
『二入四行論』の再検討 (『平井俊榮博士古稀記念論集・三論教学と仏教諸思想』、二〇〇〇・十)
〔梁武帝撰〕菩提達摩碑文』の再検討 (『駒

澤短期大学仏教論集』第六号、二〇〇〇・十)

「大東亜共栄圏の合理化と華嚴哲学—紀平正美の役割を中心として—」(『仏教学』第四十二号、二〇〇〇・十二)

「初期禅宗と楞伽経」(『駒澤短期大学研究紀要』第二十九号(一)、二〇〇一・三)

「華嚴哲学は如何にして日本の政治イデオロギーになったか」(韓国語、崔鉉植訳、『仏教評論』、ソウル、二〇〇〇・三)

〔小文〕

「大拙の二面性」(『鈴木大拙全集』(新版)

第十八巻月報18岩波書店、二〇〇一・三)

「仏教学におけるコンピュータ利用の現状」

(『文学』三・四月号、岩波書店、二〇〇一・三)

〔発表〕

「大東亜共栄圏合理化と華嚴哲学—紀平正美の役割を中心として—」(仏教思想学会、東北大学、二〇〇〇年六月二十四日)

「初期禅宗史研究の現状」(日本仏教研究会、東大仏教青年会、二〇〇〇年十二月三日)

〔Methodological Trends in Modern Japanese Buddhist Studies』(Internationa

tional Conference on Buddhism and the 21st Century Digital Society、韓国・東国大学校、二〇〇〇年十二月)

〔講演〕

「国体に縛られた仏教」(駒澤大学文化講演、駒澤大学、二〇〇〇年七月三日)

袴谷 憲昭

〔論文〕

『菩薩成仏論と捨身二譚』(『駒澤短期大学研究紀要』第二十八号、二〇〇〇・三)

「唯信鈔文意」比較対照本」(『駒澤短期大学研究紀要』第二十八号、二〇〇〇・三)

「カイナーヤ仙人物語—「一音演説法」の背景—」(二〇〇〇・十)『駒澤短期大学仏教論集』第六号

「pramāṇa-bhūta y kumāra-bhūta の語義— bhūta の用語を中心として—」

(『駒澤短期大学仏教論集』第六号、二〇〇〇・十)

「法華経」と『無量寿経』の菩薩成仏論」(『駒澤短期大学仏教論集』第六号、二〇〇〇・十)

「古蔵『観無量寿経疏』と浄土思想」(『平井俊榮博士古稀記念論集・三論教学と仏

教諸思想』、二〇〇〇・十)

「アビダルマ仏教における菩薩論」『加藤純章博士還暦記念論集・アビダルマ仏教とインド思想』、二〇〇〇・十)

「是報非化説考」〔駒澤短期大学研究紀要〕第二十九号(一)、二〇〇一・三)

〔Pramāṇa-bhūta 補記〕〔駒澤短期大学研究紀要〕第二十九号(一)、二〇〇一・三)

「貪女の一灯物語——「小善成仏」の背景(1)——」〔駒澤短期大学研究紀要〕第二十九号(一)、二〇〇一・三)

奥野 光賢

〔論文〕

「吉蔵における「四種声聞義」再考」〔駒澤短期大学仏教論集〕第六号、二〇〇〇・十)

「吉蔵における「有所得」と「無所得」」〔平井俊榮博士古稀記念論集・三論教学と仏教諸思想』、二〇〇〇・十)

「吉蔵撰『維摩経遊意』の註釈的研究」(大西龍峯氏との共同研究、駒澤短期大学紀要〕第二十九号、二〇〇一・三)

〔出張〕
第五十一回日本印度学仏教学会学術大会

(二〇〇〇年九月二・三日、於東洋大学)

平成十二年度日本仏教学会学術大会(二〇〇〇年九月三十日・十月一日、於広島大学)

平成十二年度仏教史学会学術大会(二〇〇〇年十月二十一日、於龍谷大学大宮学舎)

角田 泰隆

〔著書〕

『ブツダ・釈尊とは』(大法輪閣、二〇〇〇・二)

〔論文〕

「道元禅師の修行観——はるかなる仏道という視点——」〔駒澤短期大学仏教論集〕第六号、二〇〇〇・十)

「『正法眼蔵』再治の諸相——懷奘筆『正法眼蔵』「仏性」——」〔駒澤短期大学研究紀要〕第二十九号(一)、二〇〇〇・三)

「道元禅師の仏性観」〔宗学研究〕第四三号、二〇〇一・三)

「曹洞宗における葬祭の宗義的意義付け(試論)」〔宗学研究紀要〕第一四号、二〇〇一・三)

〔書評〕

「何燕生著『道元と中国禅思想』」〔駒澤短期大学仏教論集〕第六号、二〇〇〇・十)

〔その他〕

「宗学と寺院」〔宗学と現代〕第四号、二〇〇一年三月)

〔発表〕

「道元禅師の仏性観」(第四十六回宗学大会、二〇〇〇年十月三十一日、於駒澤大学)

「宗学と寺院」(曹洞宗総合研究センター宗学研究部門主催シンポジウム「宗学との対話」、二〇〇〇年三月十四日、於駒澤大学)

「道元禅師の霊魂観」(全国曹洞宗青年会主催「受戒シンポジウム」、二〇〇〇年六月二十三日、於曹洞宗宗務庁)

「宗学と寺院」(曹洞宗総合研究センター宗学研究部門主催「宗学との対話」シンポジウム、二〇〇〇年三月十四日)

木村 誠司

〔在外研究〕

ウィーン大学 仏教学・チベット学科(二〇〇〇年四月一日から二〇〇一年三月三十一日まで)

〔論文〕

「現量除分別の経証について」(『平井俊榮博士古稀記念論集・三論教学と仏教諸思想』、二〇〇〇・十)

【公開講演会】

二〇〇〇年十一月八日午後六時

演題 「禅門の修行のかたちと変遷」

講師 駒澤大学仏教学部非常勤講師

椎名宏雄先生

◇研究テーマ提出者(平成十一年度)

仏教科一年

西郷 麗羅 「仏教における禅定について」

耕野 夏美 「現代の仏教―曹洞宗を中心として」

大庭 桑央 「曹洞宗における戒律について」

大山 義典 「般若心経について」

舟見 百合 「大師信仰の普及の背景」

松橋 綾子 「終末期看護における宗教の役割」

岩永 義弘 「仏教の世俗諦約考察―仏教は一切衆生を消度出来るのか」

豊澤 植彦 「廃仏毀釈―仏教界への影響について」

藤田 広仁 「日本人の宗教観―仏教と神道」

岩澤 庄司 「上代日本の観音信仰」

海老原修二 「本願寺・一向一揆の研究」

阿部 宗由 「曹洞宗における葬儀の意味」

荒井 道伸 「曹洞宗の法式作法の意義」

西澤まゆみ 「道元禅師の食事観―典座教訓を手がかりとして」

宇田川一雄 「原始仏教の『象跡喩小経』における修行道と八聖道との比較」

立川 亮巖 「『正法眼蔵随聞記』の研究」

波邊 幸江 「坐禅と東洋医学―AM―(経絡測定機)による坐禅前後の経絡変化について」

三枝 美穂 「原始仏教・釈尊の教えから現代(主に生物学・医療)のあり方を考える」

横山 幸英 「『心』とは何か―空性との関係からその正体を探る」

鈴木 博子 「唯識の阿頼耶識と深層心理」

鈴木 瑞穂 「海外セリブリティを引きつける禅の魅力」

藤井 信樹 「禅と美術―禅が近代美術に及ぼした影響」

芝田多鶴子 「法相唯識に於ける五性各別に

ついて」

渡邊 憲章 「『正法眼蔵随聞記』の研究」

鈴木 隆二 「動と静―禅定がスポーツに及ぼす影響」

仏教科二年

小松聖太郎 「仏教と西洋思想」

峰村 慎司 「日本人の宗教観に関する考察」

霜田 慶太 「仏教諸宗派の本尊観―寺院の本尊を中心として」

四柳 弘一 「釈尊四十五年の伝導の公案」

村田 貴生 「現代社会における僧侶の役割」

松橋 綾子 「危機的状态における日本人と宗教」

豊田 素道 「日本仏教諸宗派の研究」

平川伸太郎 「現代仏教の現代社会における役割」

野沢 高士 「アビダルマ仏教における五見の成立」

豊田 直子 「道元禅師の生涯と教え」

竹内 寛和 「布教化のあり方について」

小池 智幸 「お地蔵さんについて」

原田 紘志 「様々な時代背景における仏教の動き」

平野 達雄 「タイの上座部仏教と社会」

佐藤 俊亮 「永観『往生講式』と曹洞宗『修証義』との比較考察」

上平 穂高「六識説と八識説との本質的相違について」

西内 勝壽「日本人の信仰心について」

松永 俊彦「宗教と哲学」

江上 恭道「仏教の未来像―曹洞宗を中心として―」

石井 秀明「日本仏教の歴史的研究」

那須 克廣「仏教祖師の個性から見る生死観」

諏訪 至孝「般若心経」の研究」

藤岡 善信「法相宗と浄土思想」

神崎 貴史「江戸時代の在家の坐禅」

立川 亮巖

三枝 美穂

鈴木 瑞穂

二坂 佳邦

野呂 真一

渡邊 憲章

小松聖太郎

峰村 慎司

四柳 弘一

村田 貴生

豊田 素道

平川伸太郎

豊田 直子

鈴木 隆二

小池 智幸

上平 穂高

伊藤 弘祥

江上 恭道

長尾 靖樹

藤岡 善信

佐藤 秀樹

大柴磨寿紀

植村 公彦

馬場 俊行

波邊 幸江

横山 幸英

藤井 信樹

芝田多鶴子

佐久間希崇

鈴木 博子

辻 和明

霜田 慶太

三橋 秀継

松橋 綾子

吉住 敬丞

竹内 寛和

神崎 貴史

原田 紘志

平野 達雄

西内 勝壽

松永 俊彦

石井 秀明

岸本 高明

那須 克廣

諏訪 至孝

黒田 雪雄

藤ノ木浩大

高田 祥哉

佐藤 裕史 嵩 佑悦

鈴木 孝幸 手嶋 光胤

石崎 憲昭 小野 大龍

西垣 宏紀 大久保嘉由揮

◇諸係担当(平成十二年度)

短期大学仏教科主任 石井 公成

○学内諸係 全学教授会委員 石井 公成

自己点検・評価実施委員 石井 公成

体育審議会委員 奥野 光賢

教育人事委員会委員 袴谷 憲昭

宗教教育運営委員会委員 奥野 光賢

情報システム委員会委員 石井 公成

紀要編集委員 角田 泰隆

図書館委員 角田 泰隆

図書館選定委員 角田 泰隆

○学科内諸係 論集編集委員 角田 泰隆

会計・庶務 奥野 光賢

◇平成十三年度短大仏教科在学生

仏教科一年

西郷 麗羅 荒井 道伸

耕野 夏美 大庭 桑央

大山 義典 内田 将平

舟見 百合 雲山 正悟

岩永 義弘 豊澤 楯彦

宮崎 継雄 藤田 広仁

北山 智 岩澤 庄司

海老原修二 西澤まゆみ

本間 誠宏 阿部 宗由

安西 元紀 宇田川一雄